将来的には町で農業を！
鮎貝出身の農大生が農林水産大臣賞受賞

鈴木泰人さん

鈴木泰人さん
- 鮎貝出身の27歳
- 休日は読書などでリフレッシュ

2月21日〜23日、全国農業大学校等プロジェクト発表会が開催され、東日本ブロック代表として出場した山形県立農業大学校2年の鈴木泰人（たいと）さん（鮎貝出身）が、「夏秋どりいちご新規栽培者のための新システム及び長期安定生産技術の開発」と題した発表で最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞しました。

鈴木さんは、身近な材料などを使っていちごの水位を適正に保ち、長期間安定栽培を可能にするシステムを開発。さらに、余剰水の利用と肥料費を削減させたことで所得の向上も実現したという事例を発表しました。

鈴木さんは、大学卒業の際、自分がやりたいことで地域のためにもなることと考えたとき「農業」が浮かび、農大に進むことを決意したそうです。

野菜コース（夏秋どりいちご）を専攻したのは「土地もなく農家の生まれでない自分でも取り組みやすく、面積当たりの所得も多いから」という理由からだそうです。

今回開発したシステムは、収量増加や実用化といった面で課題が多いため、4月からは山形大学農学部に編入し、さらに研究を続けるそうです。

将来的には白鷹で農業をしたいと笑顔で語ってくれた鈴木さん。今後の活躍にも期待したいと思います。

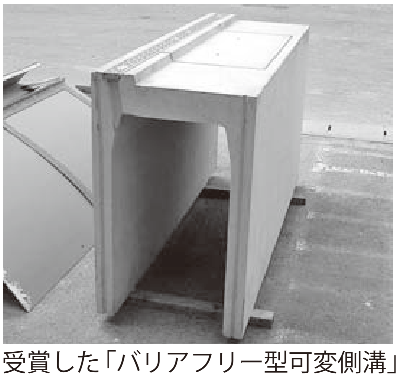
山形県立農業大学校
- 昭和30年、県立農業試験場経営伝習農場として設立。昭和58年、新しい農業大学校として発足（修業年限は２年）。
- 学科など…野菜・花きなど５つの経営学科があり、実践農業に役立つ各種資格の取得が可能。
- 現在、白鷹出身の在学生は４人

山形エクセレントデザイン賞受賞
山形新興株式会社

県のものづくり産業の競争力強化を図ることを目的とした『山形エクセレントデザイン２０１１』が実施され、山形新興株式会社（竹田良一社長）の「バリアフリー型可変側溝」がエクセレントデザイン賞を受賞（平成15年度の奨励賞に続き2回目）。2月17日、山形市で表彰式が行われ、吉村知事より賞状が手渡されました。

受賞した製品は、従来の側溝フタ面をなくすことにより舗装面が広くなり、段差も無く、通行しやすいバリアフリーに配慮した構造となっています。

竹田社長は「これまで側溝のフタの上を歩くということに抵抗があった。この側溝が普及することによって、足の不自由なかたやお年寄りのかたも安心して歩道を歩くことができると思う」と話されました。今後さらにより良い製品を作り出していただきたいと思います。



受賞した「バリアフリー型可変側溝」

第24期十王囲碁名人戦

2月11日　十王地区公民館
※○数字は順位

①五十峯隆・六段（十王）
②加地正幸・四段（高畠町）
③竹田嘉正・五段（荒砥乙）
④平吹晴彦・六段（南陽市）
⑤高山正宏・四段（荒砥甲）
⑥菅間博美・三段（荒砥乙）

白鷹学れぽーと⑤ おすぎのシネマトーク
3月2日

現在、福岡県博多市を活動拠点にしているおすぎさん。当日は朝6時からの収録を終え、名古屋から白鷹に駆けつけていただきました。

思わず「へぇ〜」といってしまう芸能ネタの後は、専門の映画の話へ。

先日のアカデミー賞の話題を中心に受賞作品や俳優、また、おススメの映画まで、独自の『おすぎ節』で大変わかりやすくお話いただきました。

おすぎさんのおススメ映画は「しゃべれどもしゃべれども」。国分太一演ずる落語家を中心に展開していく作品は、この企画初の邦画で大変楽しい映画でした。